

PDCAチェックシート

実施年度	令和3年度		担当課名	生涯学習課
事務事業名	引田城跡保存活用事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p>■目的</p> <p>令和2年3月に国史跡に指定された引田城跡の認知度を高めるとともに、保存活用を進める。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者 1,500人/年 ・ハイキングガイド利用 300人/年 <p>【達成値(R3実績値)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続日本100名城スタンプラリー →来訪者1,639人 KPI目標比109.2% ・引田城跡ハイキングガイド実施 →ガイド利用323人 KPI目標比107.8% 	<p>■具体的取組</p> <p>○保存活用計画の策定 史跡引田城跡保存活用計画策定委員会を開催し、計画内容を検討し策定する。 ・策定委員会の設立、開催</p> <p>○受入体制の充実 引田城跡や歴史民俗資料館への来訪者に対応するため、施設管理の充実を図る。 ・駐車場の管理(トイレ清掃委託)</p> <p>○啓発活動の実施 様々な手法で引田城跡の周知・啓発に努める。 ・続日本100名城スタンプラリー ・引田城跡ハイキングガイド ・ガイドマップの配布 ・人形・紙芝居、ジオラマの活用 ・動画投稿サイトを利用したPR活動</p> <p>■インプット(投入金額等) 事業費等</p> <p>○全体 820千円</p> <p>【主な内訳(文化財保護費)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費 8千円 ・需用費 130千円 ・役務費 174千円 ・委託料 519千円 ・工事費 146千円 <p>■アウトプット(数量等) 実施回数等</p> <p>○保存活用計画の策定 ・策定委員会開催 0回</p> <p>○受入体制の充実 ・駐車場の管理(トイレ清掃61回)</p> <p>○啓発活動の実施 ・続日本100名城スタンプラリー 1,639人 ・引田城跡ハイキングガイド 323人 ・ガイドマップの配布 ・人形・紙芝居、ジオラマの活用 ・動画投稿サイトを利用したPR活動 →再生回数計3,564回(6月21日時点) (令和2年5月配信開始)</p>	<p>■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>○保存活用計画の策定 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、保存活用計画策定委員会の開催を見送ったため、同計画は策定に至らなかった。今後は委員会の開催だけでなく、適宜策定委員や関係機関と情報共有を図りながら策定を進めていく。</p> <p>○受入体制の充実 令和3年度からは来訪者の利便性を高めるため、駐車場に設置した仮設トイレの清掃業務をシルバー人材センターへ委託し、定期的に清掃することで衛生面の改善を図った。</p> <p>○啓発活動の実施 人形・紙芝居、ジオラマを市歴史民俗資料館にて常設展示しているが、有効な認知度向上には至っていないと思われるので、継続的かつより認知度を高めるため、新たな活用方法を検討する必要がある。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>○保存活用計画の策定 早期の保存活用計画策定に向けてスケジュール管理に努め、同計画策定委員会の開催だけでなく、国や県などの関係機関との個別協議も並行して進める。</p> <p>○受入体制の充実 引田城跡周辺の山林は、国有林、瀬戸内海国立公園、保安林など保存、整備にあたりさまざまな規制があるため、引き続き保存活用計画策定と並行し、管理等について関係機関との連携、協議を進める。</p> <p>○啓発活動の実施 継続的な啓発活動は関係団体の協力が不可欠である。 また、観光資源として活用するために地域創生課との連携・情報共有を図る。 紹介動画の配信や各種イベントで人形・紙芝居、ジオラマを活用し、引田城跡を市内外へ積極的に情報発信していく。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。